

# 新機種紹介 調査部会

## ▶ <02> 掘削機械

02-〈02〉-13	コマツ 油圧ショベル 「GALEO」 PC 1800 <sub>6</sub>	'02.06 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

大規模な鉱山・砕石の現場で使用される大形の油圧ショベルについて、日米欧の排出ガス対策（2次規制）をクリアする高出力エンジン2基搭載による生産性向上と機械経費の低減を図ったモデルチェンジ機である。掘削力とけん引力を増大し、とくに高負荷掘削や大重量物の持ち上げにおいてスムーズな作業を実現するパワーアップの「DHモード」とブームリフト力アップの「ヘビリーリフトモード」が設定されている。ブーム、アームなどは、高張力鋼の採用に加えて板厚のアップによって耐久性の向上を図り、振動による弛み、水侵入、接続不良などを防ぐ強化形電気配線コネクタの使用や、油圧回路の異物を除去し誤作動を防止する油圧インラインフィルタの採用によって信頼性を向上している。機械の稼働状況や主

表一 PC 1800<sub>6</sub>の主な仕様

	バックホウ	ローディングショベル
標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	12	11
機械質量 (t)	180	180
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	2×338(460)/1,800	2×338(460)/1,800
最大掘削深さ×同半径 (m)	9.265×15.78	3.22×13.17
最大掘削高さ (m)	13.38	14.42
最大掘削力 (バケット) (kN)	697	721
作業機最小旋回半径 / 後端旋回半径 (m)	7.5/6.235	7.09/6.235
走行速度 (km/h)	2.7	2.7
登坂能力 (度)	35	35
接地圧 (kPa)	170	170
全長×全幅×全高 (m)	17.185×6.015×6.745	13.23×6.015×8.180
価格 (百万円)	304.5	—



写真一 コマツ「GALEO」PC 1800<sub>6</sub>油圧ショベル

要コンポーネントの作動状態をリアルタイムに監視するVHMS (Vehicle Health Monitoring System) を搭載しており、効率的なメンテナンスや故障予知による休車時間の短縮、機械の寿命管理などを可能にしている。VHMSには衛星通信機能をオプションで搭載することも可能である。

02-〈02〉-14	新キャタピラー三菱 油圧ショベル CAT 311C U	'02.07 発売 モデルチェンジ
------------	--------------------------------	----------------------

大形足回りの採用と上部旋回体のコンパクト化による狭所作業性の向上、国土交通省、EPA (米国環境保護局)、EU (欧州連合指令) の排出ガス規制 (2次基準値) をクリアしたエンジン搭載による環境保全対応を図ってモデルチェンジしたものである。油圧回路には、作業レバーの操作量に合わせて、アームの動きに対するブーム上げや旋回動作の優先度を自動的かつ可変的に切替えてスムーズな連動操作を実現するスマートワークシステムを採用し、作業モードの設定を不要にした。油圧ポンプは並列型とし、片側ポンプのみの駆動時でもエンジン出力をフルに引出せる高効率制御を実現している。異形鋼管の使用でフレームを強化したキャブには、FOGS・ヘッ

表二 CAT 311C Uの主な仕様

標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	0.45
機械質量 (t)	11.5
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	59(80)/1,800
最大掘削深さ×同半径 (m)	5.04×7.7
最大掘削高さ (m)	7.805
最大掘削力 (バケット) (kN)	89.6
作業機最小旋回半径/後端旋回半径 (m)	2.44/1.75
走行速度 高速/低速 (km/h)	5.5/3.8
登坂能力 (度)	35
接地圧 (kPa)	39.5
全長×全幅×全高 (m)	6.88×2.49×2.825
価格 (百万円)	16.5



写真二 CAT 311C U「REGA」油圧ショベル

新機種紹介

ドガードを直付けすることが可能、そのほか、ポンプ室とエンジン室のファイヤウォールによる隔離、キャブ後方窓の緊急脱出口使用、グリース封入式トラッキング採用による長寿命化など安全対策とメンテナンス性の向上に配慮している。国土交通省の低騒音型にも適合し、エネ革税制にも対応する。

02-〈02〉-15	石川島建機 小型油圧ショベル (後方超小旋回型)	15 NX	'02.06 発売 新機種
------------	--------------------------------	-------	------------------

下部走行体の幅を拡縮可能として1m幅の狭所への進入性を容易にし、一般土木、管工事、造園など幅広い作業への適用を図った小型油圧ショベルである。旋回独立・走行直進油圧システムや、アーム油圧再生回路の採用、ブームの自然降下を低減させるアンチドリフト弁の標準装備などによりスムーズな操作性と安全性を実現した。また、旋回自動駐車ブレーキの装備により、傾斜地でのずり落ちを防止し、輸送時の旋回ロックを不要にした。排土板とバケット引込み時の隙間を少なくし、アスファルト、石などのほさみ取り作業を容易にした。バケッ

表-3 15 NXの主な仕様

標準バケット容量	(m <sup>3</sup> )	0.044
機械質量	(t)	1.52
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	9.7(13.2)/2,300
最大掘削深さ×同半径	(m)	2.1×3.76
最大掘削高さ	(m)	3.61
バケットオフセット量 左/右	(m)	0.61/0.615
最大掘削力 (バケット)	(kN)	16.4
作業機最小旋回半径/後端旋回半径	(m)	1.49/0.65
走行速度 高速/低速	(km/h)	4.0/2.1
登坂能力	(度)	30
接地圧	(kPa)	25.6
全長×全幅(拡~縮)×全高	(m)	3.38×(1.28~0.96)×2.28
価格	(百万円)	4.6

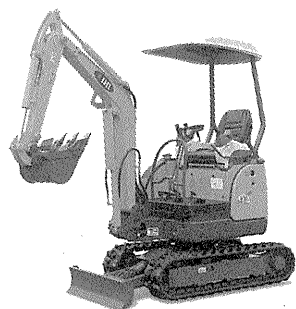


写真-3 石川島建機「SPANNER」15 NX  
小型油圧ショベル (後方超小旋回型)

トシリンダーホースは内装式、燃料タンクは錆発生のない樹脂製、ラジェータおよび作動油クーラは耐食性のあるアルミ製、ポンプ吐出配管部にカブラ付き油圧測定ポートを装備するなど、メンテナンス性の向上に配慮した。国土交通省の超低騒音型および排出ガス対策型(2次基準値)の建設機械に適合し、米国 EPA(環境保護局)の排出ガス規制もクリアして環境保全対応を図っている。

▶ 〈03〉 積込機械

02-〈03〉-04	新キヤタピラー三菱 (英キヤタピラー社製) ホイールローダ CAT 924 G	'02.07 発売 輸入新機種
------------	---	--------------------

箱型断面構造のリフトアーム(モノブーム構造)とパラレルリフト機構の採用で、作業範囲の拡大と作業性の向上を図ったホイールローダである。パラレルリフト機構によって、フォーク作業時のフォーク水平位置は自動的に保持され、リンケージは中央アームにマウントした構造となっているので、バケットやフォークの作業装置側面の視認性が十分に確保できる。バケット、フォークなど各種アタッチメントへ交換が容易なクイックカブラ

表-4 CAT 924 Gの主な仕様

	標準アーム仕様	ハイリフトアーム仕様
標準バケット容量	(m <sup>3</sup> ) 1.9	1.9
運転質量	(t) 10.36	10.35
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	90(122)/2,300	90(122)/2,300
ダンピングクリアランス ×同リーチ	(m) 2.76×1.07	3.36×0.96
最高走行速度 F <sub>1</sub> /R <sub>3</sub>	(km/h) 38.5/21.6	38.5/21.6
最小回転半径(最外側)	(m) 5.6	5.8
登坂能力	(度) 30	30
軸距×輪距(前後輪とも)	(m) 2.8×1.88	2.8×1.88
最低地上高	(m) 0.37	0.37
タイヤサイズ	(-) 17.5-25-16 PR(L3)	17.5-25-16 PR(L3)
全長×全幅×全高	(m) 7.18×2.55×3.17	7.53×2.55×3.17
価格	(百万円) 16.7	17.1

(注) 標準アーム仕様は、バケット・クイックカブラ付きを示す。



写真-4 CAT 924 G ホイールローダ (ハイリフトアーム仕様)

## 新機種紹介

装置を備えており（ハイリフトアーム仕様ではオプション）、稼働率の向上が図られる。そして、その時のバケット用あるいはフォーク用のバケットポジションの位置は、運転席のスイッチにより切替えるようになっている。国土交通省の騒音規制や排出ガス対策規制に適合しており、エネ革税制にも適合する。

### ▶ <04> 運搬機械

02-<04>-03	新キャタピラー三菱 (米キャタピラー社製) 重ダンプトラック CAT 769 D/771 D	'02.07 発売 モデルチェンジ
------------	---	----------------------

搭載エンジンは、油圧力と電子制御によって実現した燃料噴射制御システム HEUI (Hydraulic Electronic Unit Injection) を採用しており、EPA (米国環境保護局) および EU (欧州連合) の排出ガス 2 次規制をクリアしている。本エンジンの使用で標準仕様 769 D と碎石仕様 771 D の 2 機種があり、ベッセル形状はそれぞれ V 形底とフラット底を採用している。988 クラスホイールロードとの積み組み合わせでは、769 D で 3 杯積

表-5 CAT 769 D/771 D の主な仕様

	769 D	771 D
最大積載質量/山積容量 (t/m <sup>3</sup> )	37/24.2	41/27.5
運転質量 (t)	30.9	34.05
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	363(494)/2,000	363(494)/2,000
荷台上縁高さ (m)	3.145	3.40
最高走行速度 (km/h)	77.7	57.3
最小回転半径(最外側) (m)	10.15	10.15
最低地上高 (m)	0.615	0.60
輪距(前/後)×軸距 (m)	3.105/2.47×3.71	3.105/2.47×3.71
タイヤサイズ (-)	18.00-33, 32 PR (E-4)	18.00-R 33 (E-4)
全長×全幅×全高 (m)	8.24×3.665×4.03	8.4×3.66×4.02
価格 (百万円)	55.0	57.5



写真-5 CAT 769 D 重ダンプトラック

み、771 D で 4 杯積みが積算される。エンジン、トランスミッション、ブレーキなどは、電子制御ネットワークにより統合コントロールされており、各ユニットのきめ細い制御により効率的な作業性能が発揮される。エンジンオイルパンから約 1 分間でオイルを抜きとることができる急速オイル交換システムの装備や、ラジェータコアを分割式にし、アッパタンクを削除したことによって、コア破損時の交換作業を容易にするなどメンテナンス性を向上している。

02-<04>-04	ヤナセ (独ダイムラー・クラ イスラー社製) 多目的作業車 (狭軌用軌陸車) U 400 ZA	'02.06 発売 輸入新機種
------------	--	--------------------

在来線の狭軌 (軌間 1,067 mm) 上と一般道路上の走行を可能とする車両で、運搬・けん引、高所、草刈、除

表-6 U 400 ZA の主な仕様

車両総質量 (t)	12
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	130 (177)/2,200
最高速度 $F_0/R_0$ (km/h)	85
最小回転半径 (m)	7.85
最低地上高 (m)	0.27
輪距 (前/後)×軸距 (m)	1.574×3.6
タイヤサイズ (前後とも) (-)	10.00 R 20
鉄輪径×トレッド (m)	0.4×1.067
全長×全幅×全高 (m)	5.7×2.3×2.895
乗車定員 (名)	2
価格 (百万円)	28.5



写真-6 ヤナセ U 400 ZA 多目的作業車 (狭軌用軌陸車)

新機種紹介

雪、クレーンなどの各種作業に使用される多目的作業車である。軌道上は鉄輪で、一般道路上はタイヤで走行するもので、4 m以上の踏切りがあれば、線路への載線、離線ができ、トルクコンバータと前後進8段のトランスミッションの組み合わせにより、大きな駆動力と微低速の作業速度が得られる。フルタイムの4輪駆動で、走行中でもセンタおよびリヤアクスルのディファレンシャルギヤロックが可能である。4輪ディスクブレーキを採用しており、ABS（アンチロックブレーキシステム）やALB（制動力自動調整システム）を標準装備している。エンジンは欧州の排出ガス規制ユーロⅢに適合するもので、低速高負荷の作業を考慮した大容量ラジェータと油圧駆動式冷却ファンを採用している。

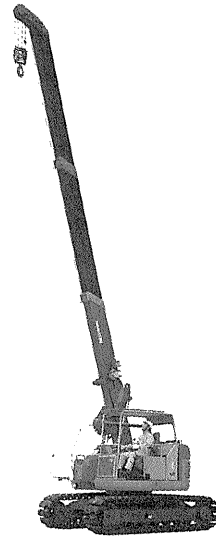
▶ <05> クレーン、エレベータ、高所作業車およびウインチ

02-〈05〉-02	コマツ クローラクレーン (伸縮ブーム型)  LC 1385, 地下仕様車	'02.05 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

頭上や側方スペースに制約がある建築逆打ち工事や地下鉄工事に使用される地下仕様のクローラクレーンのモデルチェンジである。本体は超小旋回型油圧ショベルを使用し、ブームフートを低く抑え、ショートブームの採用、ブーム固定用コラムの廃止、ブーム先端60°アングルブラケットの採用とフックの小形化などにより、低車高を保ちながら、取扱可能荷重の増大や吊りしろの削減、視界の向上などを図った。また、ブーム右側面とブーム上面の突起をなくし、ウインチワイヤをブーム下抱きにしたことでブーム、ワイヤの損傷を防止した。ウインチは2速切換式として空荷時のフックスピードをアップした。足回りにはパッドが1枚づつ交換できるロードライ

表一七 LC 1385, 地下仕様車の主な仕様

最大吊上げ能力	(t×m)	4.9×2.65
最大地上揚程×同作業半径	(m)	10.04×10.15
運転質量	(t)	12.6
定格出力	(kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	64(87)/2,200
ブーム長さ	(m)	4.5~10.0
後端旋回半径	(m)	1.48
走行速度 高速/低速	(kW/h)	5.1/3.1
登坂能力	(度)	30
接地圧	(kPa)	0.45
全長×全幅×全高	(m)	6.465×2.49×2.7
価格	(百万円)	24.5



写真一七 コマツ LC 1385, クローラクレーン

ナをオプションで用意し、メンテナンス時間とランニングコストの低減を図った。溶接スパッタ侵入防止カバー、過負荷防止モーメントリミッタ、フック格納装置などの安全装置も標準装備している。国土交通省の騒音規制、排出ガス規制に適合しており、環境対応を図っている。

▶ <06> 基礎工事機械

02-〈06〉-03	コマツ 地盤改良機 (添加材攪拌・圧送装置) 「マルチヌエバ」 TKP 1-50 M 2 W ほか	'02.04 発売 モデルチェンジ
------------	---	----------------------

小口径管推進工事における現場地盤の安定を図るため、掘削添加材、滑材、水などを攪拌・圧送する機械のモデルチェンジである。添加剤と滑材を同時に送ることがで

表一八 TKP 1-50 M 2 W ほかの主な仕様

	TKP 1-50 M 2 W (2槽・2ポンプ仕様)	TKP 1-45 M 4 (2槽・1ポンプ仕様)
ポンプ吐出量 / 同最高吐出圧力	23/3, 30/3	45/6
(l/h/MPa)		
ポンプ吐出口径	25.4	25.4
攪拌タンク容量	250×2槽	250×2槽
ポンプ所要動力/電圧	1.5/200, 2.2/200	5.5/200
(kW×V)		
ミキサ所要動力/電圧	1.5/200	1.5/200
(kW×V)		
機械質量	0.8	0.8
全長×全幅×全高	1.22×1.11×1.75	1.5×1.06×1.8
価格	4.15	4.15
(百万円)		

新機種紹介



写真—8 コマツ「マルチヌエバ」TKP 1-50 M 2 W 地盤改良機 (添加材攪拌・圧送装置)

きる2槽・2ポンプ仕様のTKP1-50M2Wと、2槽・1ポンプ仕様でポンプ吐出量が大きく長距離スパンに対応できるTKP1-45M4があり、本体は、ミキサ（攪拌槽）、圧送ポンプ、フレームから構成される。圧送ポンプの吐出量は、インバータ制御により無段階に調整できる。攪拌槽に液面センサを、圧送ポンプには圧力スイッチを装備し、異常発生の場合は標準装備のリモコンから警報ブザーで知らせるようになっている。2槽・2ポンプ仕様のTKP1-50M2Wは、上下別々の滑材や掘削添加材の攪拌・圧送ができるため、従来品に比べ設置面積は2/3と小さくできる。

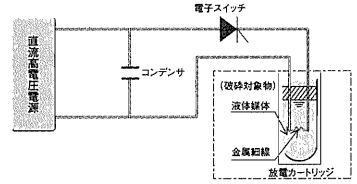
▶ <07> せん孔機械およびブレーカ

02-<07>-02	日立造船 放電衝撃破砕装置 ESG-3 K 1-3 U	'02.06 発売 モデルチェンジ
------------	-----------------------------------	----------------------

岩盤やコンクリート構造物の破砕に使用される小形の放電衝撃破砕装置で、振動、騒音が少なく、市街地や狭

表—9 ESG-3 K 1-3 U の主な仕様

最大使用電圧	3,000 V
充電時間	40 s
入力電源 単相交流 (50/60 Hz)	100 V±50%
電源容量	1.5 kVA
動作温度	0~40°C
動作湿度 相対湿度 (盤内結露がないこと)	気温 30°C 以下で 80% 以下 気温 40°C 時 50% 以下
質量	約 40/約 45/約 50 kg
電源盤/パワー BOX 1/パワー BOX 2	
寸法 (長×幅×高)	電源盤 0.43×0.615×0.38 m パワー BOX 1 0.43×0.55×0.58 m パワー BOX 2 0.43×0.55×0.58 m
価格	約 10 百万円



写真—9 日立造船 ESG-3 K 1-3 U 放電衝撃破砕装置

い場所でも安全な作業を可能とするものである。装置本体は、HV 制御電源盤、パワー BOX 1、パワー BOX 2 の3点で構成され、それぞれは約 50 kg 以下にして運搬、設置を容易にした。破砕対象物にせん孔した孔に放電カートリッジを挿入・設置し、直流高電圧電源からコンデンサに充電した電気エネルギーを電子スイッチにより一気に放電してその衝撃力で破砕するものである。放電カートリッジには金属細線と液体媒体が封入されており、放電によって、金属細線を溶融・気化してその体積膨張と液体媒体の気化膨張により高衝撃力を発生する。カートリッジの液量の調整により発生パワーを比例的にコントロールして制御破砕することも可能である。火薬を取扱わないので特別な免許は不要である。

▶ <10> 環境保全装置およびリサイクル機構

02-<10>-03	住友建機 建設廃材処理機 SH 200 LC-3 LM ほか	'02.05 発売 応用製品
------------	--------------------------------------	-------------------

油圧シヨベル SH 200 LC, SH 220 LC, SH 300 LC, SH 450 LHD をベースに、リフティングマグネット仕様、マグネフォーク (リフティングマグネット & フォーク) 仕様、スクラップローダ (グラップル) 仕様などを確立したものである。キャブはパラレルリンク式エレベーター機構で上昇できるようになっており、最上昇時は作業の揺れが少ない機体旋回中心付近に位置している。また、キャブ昇降シリンダには落下防止弁を、昇降ストロークエンドにはクッション機構を備えている。リフティングマグネットの発電システムは油圧駆動とし、配電盤は衝撃に強い IGBT (高速トランジスタ) 方式を採用している。配電盤で感知した故障情報は、故障診断

新機種紹介

表—10 SH 200 LC-3 LM ほかの主な仕様 (1)

	マグネフォーク仕様		スクラップローダ仕様		
	SH 200 LC -3 MF	SH 220 LC -3 MF	SH 220 LC -3 SL	SH 300 LC -3 SL	SH 450 LHD -3 SL
吸着能力/マグネット径 (kN/m)	4.9/φ1.1	7.8/φ1.3	—	—	—
吊上げ能力 (t)	—	—	1.8	0.8	0.8
機械質量 (t)	23.5	27.6	26.1	38.6	48.5
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	103(140) /1,950	121(165) /2,150	121(165) /2,150	184(250) /2,000	235(320) /1,950
発電機出力 (kVA)	15	15	—	—	—
最大ダンプ高さ /最大作業半径 (m)	—	—	—	—	—
最大作業高さ /最大作業半径 (m)	9.59/9.49	9.79/9.91	—	—	—
アームトップ最大高さ /アームトップ最大作業半径 (m)	—	—	13.68/12.99	16.97/16.20	18.05/16.60
作業機最小旋回半径 /後端旋回半径 (m)	3.67/2.75	4.01/2.91	4.64/2.91	4.92/3.61	4.32/3.79
走行速度 高速/低速 (km/h)	5.5/3.3	5.5/3.4	5.5/3.4	5.5/3.2	5.3/3.1
全長×全幅×全高(本体) (m)	9.47×2.99 ×3.14	9.94×3.19 ×3.21	11.2×3.19 ×3.41	—×3.2 ×3.38	—×3.35 ×3.51
価格 (百万円)	見積	見積	見積	見積	見積



写真—10 住友建機 SH 200 LC-3 MF 建設廃材処理機 (マグネフォーク仕様)

表-10 SH 200 LC-3 LM ほかの主な仕様 (2)

	リフティングマグネット仕様			
	SH 200 LC -3 LM	SH 220 LC -3 LM	SH 300 LC -3 LM	SH 450 LHD -3 LM
吸着能力/マグネット径 (kN/m)	7.8/φ1.3	7.8/φ1.3	11.8/φ1.5	11.8/φ1.5
吊上げ能力 (t×m)	—	—	—	—
機械質量 (t)	24.0	27.6	37.0	50.0
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	103(140) /1,950	121(165) /2,150	184(250) /2,000	235(320) /1,950
発電機出力 (kVA)	15	15	20	20
最大ダンプ高さ /最大作業半径 (m)	7.30/8.85	7.63/9.72	7.64/10.53	8.76/11.2
最大作業高さ /最大作業半径 (m)	—	—	—	—
アームトップ最大高さ /アームトップ 最大作業半径 (m)	—	—	—	—
作業機最小旋回半径 /後端旋回半径 (m)	3.67/2.75	3.87/2.91	4.49/3.45	4.99/3.79
走行速度 高速/低速 (km/h)	5.5/3.3	5.5/3.4	5.5/3.2	5.3/3.1
全長×全幅×全高(本体) (m)	9.47×2.99 ×3.14	9.88×3.19 ×3.20	11.04×3.20 ×3.36	12.13×3.35 ×3.62
価格 (百万円)	見積	見積	見積	見積

(注) (1) マグネット盤の最大作業高さ、最大作業半径は、盤の最外縁部までの距離で表わす。  
(2) ローダ仕様のアームトップ高さ/作業半径は、アームトップピン位置で表わす。

機能により、キャブ内設置の計器盤で知らせるようになっている。SH 200, SH 220 のラジェータは清掃が容易なようにスイングアウト機構を採用しており (SH 300 以上はインターラ付のため設定なし)、スクラップローダ仕様機には荷重計などのクレーン機能を装備している。グリース封入式ブッシュによりフロントアタッチメントの給脂間隔を 1,000 hr とし、作動油透析装置・クリーンネフロン (特許) の採用により作動油交換を 10,000

hr に延長した。国土交通省の低騒音型と排出ガス対策型 (2 次規制)、米国 EPA (環境保護局) および欧州 EU の排出ガス 2 次規制の基準値をクリアしており、環境保全に配慮している。

02-〈10〉-04	タダノ 木材破砕機 (定置式) ESC-302 H ほか	'02.06 発売 新機種
------------	------------------------------------	------------------

建設廃木材から硬質プラスチック、タイヤなどまで幅広くチップ化を可能とする木材破砕機 2 機種である。投入ホッパ、ツインカッタを備えた破碎室、チップの均一化を確実にするスクリーン、排出用ベルトコンベヤ、本体フレームなどから構成される。過負荷により機械が停止しても、自動反転・復帰するプログラムが組込まれており、機械に無理はかからない。破碎は 2 軸の回転刃と 2 軸周辺の固定刃によって嚙込み、切削して行う。回転

表—11 ESC-302 H ほかの主な仕様

	ESC-302 H	ESC-152 H
処理能力 (m <sup>3</sup> /h)	10~60	5~30
破碎室間口寸法 (m)	1.6×0.95	1.6×0.95
機械質量 (t)	9.0	8.7
動力 (3相 200/220 V) (kW)	30×2 モータ	15×2 モータ
ホッパ大きさ/同上縁高さ (m)	3.01×2.34/3.65	2.65×1.95/2.9
スクリーンサイズ (mm)	φ30~150	φ30~150
排出ベルトコンベヤ幅 (m)	0.6	0.6
全長×全幅×全高 (m)	6.6×2.34×3.65	6.6×1.95×2.9
価格 (百万円)	29	27

(注) 処理能力は、投入破碎物の種類、形状、スクリーンサイズ、作業条件などにより異なる。

新機種紹介

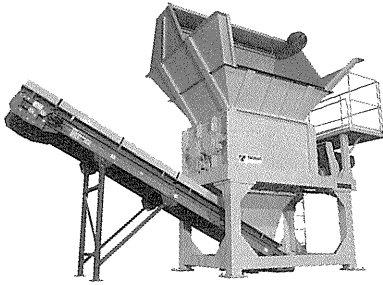


写真-11 タダノ ESC-302 H 木材破砕機

刃も固定刃も1刃ごとに交換ができるようになっており、回転刃については両端に切刃が設けられているので、逆向きに取付けることによって1回転刃を2度使用することができる。また、ツインカッタ周りのスクリーンは、開閉式となっているのでカッタの交換作業に便利である。

▶ <14> 維持修繕・災害対策用機械および除雪機械

02-〈14〉-02	アイチコーポレーション 橋梁点検車 SF-75 A	'02.07 発売 新機種
------------	------------------------------	------------------

ブーム形状とポスト起伏機構の採用により、遮音壁(6m高)などの乗越えも容易にしたコンパクトな橋梁点検車である。プラットフォームは手動拡張式で、180°の首振りが可能のため、1回の設置で車両の前後方向に約10mの作業範囲を確保することができる。また、ブームおよびプラットフォームは左右に同等の旋回角度を有するので、道路の左右どちら側からでも作業姿勢がとれる。ジャッキの先にはローラが設けられており、作業姿勢のままでの低速走行が可能である。ブームは揺れを低減する六角断面を採用し、赤外線センサを用いたブーム下面接触防止装置、キャビンやアウトリガなどとの接触を予防するブーム干渉防止装置などを備えている。ポストの起伏、アームの旋回、ブームの旋回・伸縮・起伏動作を自動でコントロールし格納操作を容易とした自動格

表-12 SF-75 A の主な仕様

積 載 荷 重 (搭乗人員)	(kg)	200 (2名)
最大差込み長さ	(m)	4.48
最大地下深さ/最大地上高	(m)	6.0/7.2
最大作業半径	(m)	6.2
作業床寸法		3.06×0.88×1.0/4.56×0.75×1.0
縮小時/拡張時 (長×幅×高)	(m)	
ブーム長さ (2段)	(m)	3.4~4.8
旋 回 角 度	ブーム/作業床首振り (度)	左右100/左右90
ポスト長さ (3段+スライド)	(m)	(3.14~6.8)+1.2
アウトリガ張出幅	左/右 (m)	0.98~2.09/0.98/2.22
架装シャシー	(-)	3.5~4.0tクラス
車 両 (全長×全幅×全高)	(m)	6.1×2.16×2.94
価 格	(百万円)	26.8

(注) 車両寸法は架装シャシーにより異なる。

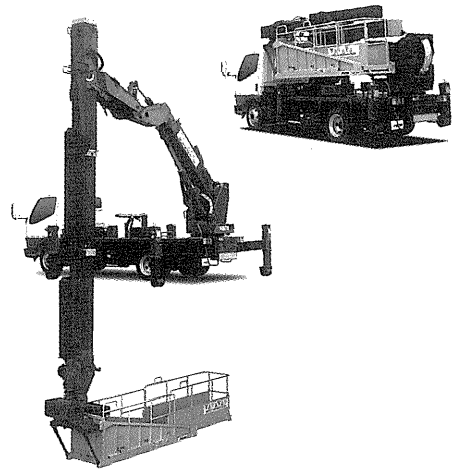


写真-12 アイチコーポレーション「ブリッジマスター」SF-75 A 橋梁点検車

納装置や、ローラジャッキ使用で走行作業中の安全速度をキープする走行速度警報装置、走行中の路面傾斜の変化を警告する車体傾斜警報装置などが標準装備されている。3.5tシャシーへの架装を可能としているので、普通免許で運転ができる。